

地区分区・奉仕団 活動ニュース



●県内の赤十字奉仕団委員長が 福島県西白河郡矢吹町赤十字奉仕団と交流

平成24年6月15日(金)、16日(土)の2日間、埼玉県内の各地域赤十字奉仕団委員長が集まり、東日本大震災で被災された福島県西白河郡矢吹町の赤十字奉仕団と交流を行いました。

この交流は、埼玉県内の赤十字奉仕団の会議において「私たちにも何かできないか？現地のニーズはどのようなものか？また、震災時の体験談を直接伺うことによって、災害時における赤十字奉仕団の使命は何なのかを再確認したい」との多くの意見が出され、実現したものです。

矢吹町赤十字奉仕団との交流では、震災直後の状況を伺い、涙を浮かべる団員も大勢おりました。また、埼玉県の奉仕団員より、巾着袋などのプレゼントをお渡しし、復興支援の一助になればと地元海産物のお土産をたくさん購入させていただきました。

参加者の一人は、「自らも被災しながら奉仕団員として炊き出しや近所の人の安否確認をした苦労話を聞くと、私達赤十字奉仕団の役割は改めて重要な活動だと実感しました」と話していました。



震災直後の状況を伺う参加者

●ふじみ野市赤十字奉仕団

5月20日(日)に地域の小学校校庭で3町会合同防災訓練が開催され、会場に来られた方から順次ハイゼックスを使った非常食作りを体験していただきました。

175名の参加があり、地区長の挨拶に続き消防署による消防訓練→通報訓練→煙体験→地震体験→防災倉庫見学等各班に分かれて実施されました。

その間に奉仕団は、ごはんと同じ要領で炊飯袋にカレーの具材を入れ共に温め、訓練終了後みなさんと試食しました。

支援が届くまでの間、家族を守るために自分たちができることは何か、非常食の工夫も考えたいと思いました。



ハイゼックスを使って非常食作りを体験

※ハイゼックス…非常食炊き出し袋